

平成26年度移植対策関係予算概算要求の概要

＜平成25年度予算額＞	→	＜平成26年度概算要求額＞	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center;">対前年度比</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 1.2em;">110.8%</td> </tr> </table>	対前年度比	110.8%
対前年度比					
110.8%					
2,717百万円		3,011百万円			
			＜注＞他局課計上分を含む		

造血幹細胞移植対策の推進（一部推進枠） 21.4億円（18.8億円）

■ 患者の病気の種類や病状に応じて、3種類の移植法（骨髄移植・末梢血幹細胞移植・臍帯血移植）から適切な移植法を選択し実施できる医療体制の整備や、治療成績の向上を図るとともに、造血幹細胞移植に必要な基盤（バンク）の安定的な運営を支援する。

④ **造血幹細胞移植患者・ドナー情報登録支援事業【推進枠】 73百万円（31百万円）**

患者の治療内容やドナーの健康情報等を収集・分析し、個人が特定されないようプライバシーに十分配慮をした上で、医療機関や研究者のみならず、患者相談を行っている者などに公開することにより、3種類の移植法のうち、病気の種類や病状にあった適切な移植法が行われ、治療成績の向上等につなげていく体制の整備を行う。

④ **造血幹細胞移植医療体制整備事業【推進枠】 218百万円（65百万円）**

患者の病状に応じて、3種類の移植法のうち適切な移植法を実施できる体制を確保した拠点的な病院を整備し、造血幹細胞移植に関する人材育成や診療支援等を行うことにより地域の造血幹細胞移植医療体制の底上げを図る。

④ **骨髄データバンク登録費 728百万円（665百万円）**

骨髄移植及び末梢血幹細胞移植をする際に必要な骨髄等ドナーのHLA（白血球の型）の検査及びデータ登録等に要する経費。平成26年度においては、若年層への重点的・積極的なドナーリクルートに取り組むことに伴い必要となるドナー登録の経費を計上する。

④ **骨髄移植対策事業費（骨髄バンク運営費） 468百万円（466百万円）**

初期コーディネート期間の短縮のための措置を強化するとともに、骨髄移植推進財団の安定的な運営を引き続き支援する。

④ **さい帯血移植対策事業費（さい帯血バンク運営費） 610百万円（645百万円）**

臍帯血バンク（8バンク）の安定的な運営を引き続き支援する。

※事業の一部を造血幹細胞提供支援機関へ移管。

④ **造血幹細胞提供支援機関業務経費 31百万円（0百万円）**

骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん機関及び臍帯血供給事業者に対する支援を行う支援機関の安定的な運営を支援する。

末梢血幹細胞採取体制の整備

メニュー予算

造血幹細胞数測定装置の整備に対する補助（定額）を行い、末梢血幹細胞採取認定施設の拡大を図る。

臓器移植対策の推進

6.9億円（6.6億円）

- 臓器移植が着実かつ適切に実施されるよう、あっせん業務体制の充実を図るとともに、引き続き、移植医療への理解、臓器提供に係る意思表示の必要性について普及啓発する。

増 あっせん従事者設置費

224百万円（200百万円）

コーディネーターを増員（38人→42人）し、臓器提供事例の増加に適切に対応するとともに、臓器提供施設の院内体制整備支援を強化するほか、ドナー家族の心のケア（フォロー）体制、啓発活動を強化する。

普及啓発事業費

30百万円（30百万円）

臓器提供に係る意思表示が可能となる15歳を対象とした中学3年生向け啓発冊子の配布のほか、ポスター掲示等を通じて移植医療への理解や意思表示の必要性について啓発を図る。

移植医療研究の推進

1.9億円（1.7億円）

- 臓器移植・組織移植・造血幹細胞移植のそれぞれについて、社会的基盤に関する研究及び成績向上に関する研究を推進する。

※厚生労働科学研究費（大臣官房厚生科学課計上分）

ご質問等の問い合わせ先

厚生労働省 臓器移植対策室

担当者：菊田、元村

電話番号：03-3595-2256